

登別漁港の整備促進

■ 現状

登別漁港は、登別温泉やテーマパーク等の豊富な観光資源を背後にもち、スケトウダラを主要魚種として、サケ、イカ等の多様な水産資源に恵まれており、胆振管内における沿岸漁業の流通拠点漁港として、重要な役割を担っております。

また、全国各地からのイカ釣り外来船の利用要請が多い漁港となっており、平成14年に第3種漁港へ指定変更され、以来、国の直轄事業として、これまで第2・第3港区の拡張工事をはじめ、衛生管理の向上を目的とした第2港区及び第3港区の屋根付き岸壁や清浄海水導入施設の整備、第1港区の老朽化した岸壁の改良などを実施していただいております。

■ 課題

第3港区は平成24年に供用が開始されましたが、荒天時の港内擾乱等により、漁業活動の安全利用に支障があるため、第1港区と第2港区が混雑しており、利用者からは静穏度を高めるための突堤整備を強く求められております。

一方、第1港区では、岸壁等の老朽化対策を促進するとともに、陸揚げ作業が野天で行われていることから、異物混入防止等の衛生管理強化や、特に厳冬期における作業環境改善について、利用者から強く求められております。

また、地震災害などの緊急時に登別漁港利用者が迅速に、且つ安全に避難できるよう、第1港区における漁港施設の機能保持や、津波到来時に一時的に避難できる場所を確保する必要があります。

■ 要望内容

- 静穏度向上を図り、あわせて港内の混雑を緩和するため、第3港区の突堤の整備促進
- 衛生管理対策の強化による漁獲物の品質向上や高付加価値化、また、過酷な作業環境の改善を図るため、第1港区の屋根付き岸壁の整備促進
- 災害に強く、安全・安心な漁港とするため、東防波堤の改良、第1港区の耐震性能が強化された岸壁や人工地盤の整備促進



■ 事業効果

- 水産業の振興
- 観光産業への波及
- 防災機能の強化
- 就労環境の改善
- 外来船の利用増加に伴う地域活性化
- 衛生管理の強化によるブランド力の向上